



News Letter

国際農業機械化研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 新農林社内 電話 03-3291-5718・3674

INTERNATIONAL FARM MECHANIZATION RESEARCH SERVICE

c/o SHINNORIN-SHA, 1-12-3 KANDA NISHIKI-CHO, CHIYODA-KU, TOKYO, ZIP101-0054 JAPAN., TEL. 03-3291-5718・3674

News Letter 通巻 483号

2015. 4. 15

発行責任者

岸田 義典

目次

2015

Vol. 4

- 西アフリカ農業資機材導入可能性調査報告
(独) 農研機構／生研センター農業機械化研究所
八谷 満 氏.....2
- 国別輸出入 (2015年2月)..... 14
- WORLD NEWS..... 19
- EVENTS CALENDER..... 20

西アフリカ農業資機材導入可能性調査報告

(独) 農研機構／生研センター 農業機械化研究所
八谷 満 氏

国際農業機械化研究会は、(株)新農林社と共催で、第 483 回海外農業機械事情報告会を平成 27 年 3 月 25 日(水)に開催した。講師は、農研機構／生研センター農業機械化研究所の八谷 満氏。同氏は、生研センターで主にポストハーベスト関係の研究に長年携わってきた。今回は JETRO の依頼で農業機械化事情を調査するため、平成 26 年 7 月 27 日～8 月 9 日にかけてコートジボワールとナイジェリアを査察。その調査結果を「西アフリカ農業資機材導入可能性調査報告」と題し、資料と映像をもとに報告した。
要旨は以下の通りである。

生研センターの八谷です。約 30 年近く、畜産をはじめ、園芸作や稲作のポストハーベスト関係の研究をして参りました。昨年、JETRO（日本貿易振興機構）の依頼で、コートジボワールとナイジェリアの 2 カ国を調査し、農業や農業機械化事情を査察してきました。JETRO は農業関係にはほとんど着手しておらず、一般食品や産業用の輸出を促進する組織です。しかし昨今、西アフリカや東アフリカもそうですが、農業機械に対するニーズが高いという調査結果がでたことから、それではこういった分野で農業の機械化が求められているのかを調査するように依頼を受けました。

個人的にはアフリカでの調査は初めてのことで、JETRO でも、こういった作物にこういった機械が使われているかは全く把握していません。種々の関連資料を基に、調査対象になる作物をいくつか

調べていきました。

調査対象はコートジボワール、ナイジェリアの 2 カ国。調査期間は、2014 年 7 月 27 日（日）～8 月 9 日（土）の 2 週間でした。2 カ国を 1 週間ずつ調査しました。目的は、日本とアフリカ諸国双方における農業関連ビジネスのニーズを探索し、具体的なビジネスマッチングの可能性を探るべく、現地の農業・農業機械化事情の調査です。内容に関しては、①農業関連機関及び生産者等の調査を通じて、主要農作物等における生産工程の概況を把握し、日本の農業機械導入の可能性を見出す——。とにかく限られた時間ですので、生産者の訪問を通じてあくまでも概況を把握し、それを基に日本の農業機械の導入の可能性を探ることです。②現地農業資機材関係者を対象とした「日本農業事情と機械化の概況等」

図1 ナイジェリアの主要産業



図2 コートジボワールの主要産業

